

2023年7月5日

神戸市交通事業管理者
城南 雅 一様

神戸交通労働組合
執行委員長 五百旗頭



労働条件・職場環境の改善、予算確保に関する要請書

日頃から、職員の労働条件や職場環境の改善をはじめ、労働安全衛生の確立に向けてご尽力いただいておりますことに敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症は、今年5月8日に5類へ移行され、これまで自粛していた外食や旅行など、多くの方が楽しんでおり、街中も活気を戻しつつあります。しかし、私たち市バス・地下鉄職員は、依然として、市民・利用者はもちろんのこと、職員や家族の命と健康を守るため、感染防止に努めながら、日夜、職務にあたっています。

また、市バス・地下鉄の乗客数や乗車料収入は、コロナ前の水準までは戻っておらず、厳しい状況におかれています。

これらを踏まえ、私たち職員の生活や健康を守るため、労働条件や職場環境の改善を図るとともに、市バス・地下鉄を市営交通として維持・存続させるための予算確保にむけ、下記のとおり申し入れますので、最大限の配慮をお願い申し上げます。

記

1. 「神戸市営交通事業 経営計画 2025」の関連事項について

(1) 経営計画 2025 の進捗と今後の見直しについて

「経営計画 2025」の現在の進捗状況を踏まえ、乗客増・収入増の取り組みをさらに強化すること。

(2) 料金改定について

将来にわたって安全・安心な市バス・地下鉄を維持していくために、「神戸市営交通事業経営計画 2025」の見直しの一環として、両事業とも必要な料金改定にむけて検討を進めること。

(3) 人材の確保について

持続可能な地域公共交通を実現するため、優秀な人材の確保にむけて、勤務・労働条件の向上に努めること。また、女性運転士の登用など新たな人材確保対策についても早急に検討すること。

(4) 給与カットの見直しについて

エネルギー価格の高騰や大幅な物価高を踏まえ、職員が安心した生活を送れるように、2023年4月から実施している交通局採用職員の10%の給与カット

の削減幅の縮小を検討すること。

(5) 財政支援の拡充について

市バス・地下鉄を市営交通事業として維持していくためにも、特別減収対策企業債の償還利子や地下鉄事業特例債などを含め、神戸市に対して支援の拡充を行うよう働きかけを強化すること。

2. 北神線の一体的運営について

2024年度に予定している北神線の直営化にむけては、勤務労働条件に関連する内容も多いことから、早急に「高速対策委員会」を開催し、情報共有を図りながら、十分に協議を行い、労使合意のもと実施すること。

3. 「交通局自動車部営業所 人事・組織運営方針」について

「安全・安心」な市バスの運行を続けるためにも、一律的な取り扱いとなっている「交通局自動車部営業所 人事・組織運営方針」について再検討すること。同様に、人事異動時の研修期間についても見直すこと。

4. 定年延長について

2023年4月から神戸市においても定年延長が実施されたが、交通局採用職員の給与カットについては、60歳に到達した年度末までとすること。また、加齢に伴う身体的機能の低下が職務遂行に支障をきたす職種については、職務の見直し・配置転換など、誰もが安心して働き続けられるための環境整備に努めること。

5. 現業職5級への昇格について

2023年5月に市バス運転士において、乗務主任制度・乗務副主任制度が新設されたが、現場職員のモチベーション維持と活躍できる職域の拡大のためにも、現業職5級への昇格制度を早急に検討すること。

6. 36協定の遵守と改善基準告示について

全職場において、36協定の遵守を徹底すること。また、改善基準告示については、安全・安心な運行を第一に考え、十分な睡眠時間を確保するためにも、11時間の休息期間を設けるよう努力すること。

7. 公正・公平な人事評価制度の確立について

公正・公平な人事評価の確立にむけ、現場職員が係長・課長を評価する「管理職360度フィードバック制度」の導入について、早急に検討すること。

8. 職場内におけるハラスメント対策について

管理監督責任がある管理職がハラスメントを起こすことがないよう指導・教育を徹底すること。

以上